

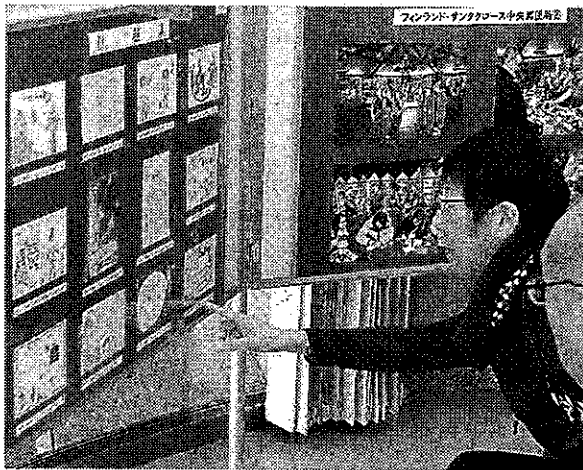


本日の編集長＝渡辺勉

電話03-3545-0131 www.asahi.com

本場のサンタさんへ手紙

長野中央郵便局に入賞作72点



長野市の長野中央郵便局で18日、「『サンタさんへの手紙』信越地方展」が始まった。日本・フィンランドサンタクロース協会の主催、日本郵便信越支社などの共催で、24日まで。

「手紙」は、申し込みをすると、フィンランドの「サンタクロース中央郵便局」の消印が押されたクリスマスカードと、専用の返信はがきが届き、そのはがきに「サンタさんへの手紙」を書く、翌年夏にもカードが届くサービス。

全国の郵便局や同協会のホームページから申し込み、代金は1500円。

フィンランドと日本の双方で審査し、手紙の中から優秀作品を選び、記念品を

贈る。例年、各地から約6千通の申し込みがあり、900通ほどが入賞する。

サービス開始は12年前。日本子どもたちは、世界で最も多くフィンランドのサンタクロース宛てに手紙を書いていることから、サンタさんと手紙をやりとりできるようにと始まった。

県内での展示会は4回目。今回は昨年と一昨年の応募作品のうち、信越支社管内の入賞作品72点を展示している。どの作品にも、「サンタさんありがとう」「プレゼントはこぶのおもくなかった？」など、あたたかいメッセージが書かれていた。

3日までに申し込み、クリスマスにカードが届く。

問い合わせは同協会
054・6555・070
(森泉萌香)